



## オール埼玉で平和を守ろう！ 北浦和公園に6500人

6月2日、北浦和公園のオール埼玉総行動に参加しました。2015年9月に集団的自衛権の行使を容認した閣議決定撤回を求めてスタートした13回目の県民集会です。

埼玉弁護士会、連合埼玉、埼労連が呼びかけ、立憲民主党、新社会党、社会党が参加。日本共産党は国会議員団と一緒に私たち県議団も参加しました。日本共産党を代表して塩川てつや衆院議員が「憲法9条にもとづく平和外交をすすめる政治に転換していこう」とあいさつ。集会後はふじみ野と三芳のみなさんと浦和駅までパレードしてきました。

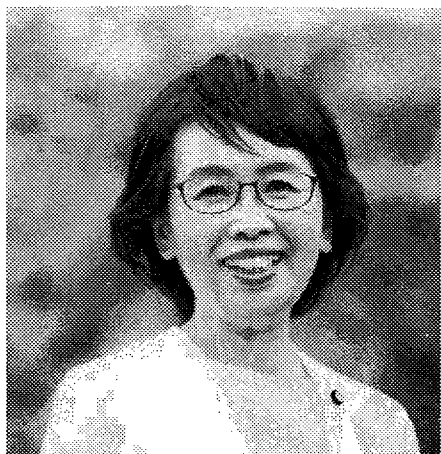
## 埼玉土建「住宅デー」

### 地元の職人さんに頼んで安心

包丁とぎ、まな板削り、網戸の張りかえに大忙し。年に1度の取り組みは今年で47回目。若い職人さんがベテランさんに見守られながら網戸の張りかえに初挑戦する姿も微笑ましい。次世代につなぐ、地域につなぐ大切な住宅デーです。



一緒に包丁を砥ごうと言われて大笑い(三芳の会場)



**伊藤はつみ**

**県政のとびら NO.28**

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年6月16日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

# 大井通信所周辺1キロが監視？調査？

## 「土地利用規制法」について学習しました



防衛省直轄の電波部に所属する大井通信所。世界中の電波を傍受して解読していると言われていますが、役割については明確にされていません。この通信所の機能を阻害する恐れがあるか周囲1キロが常に監視されます。

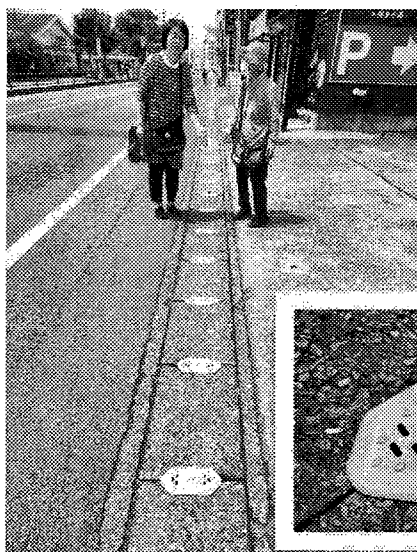
学習会の会場「八丁会館」は通信所に隣接しています。窓の外には有刺鉄線とカメラが見えます。

「引っ越してきたばかりで市の広報だけではわからないので参加しました」という方も。カメラは時々向きを変えるという声もありました。私からは「この法律の詳細は閣議決定され、いつ、誰が、どのように調査されているのか、何が機能を阻害する行為なのか明確ではありません。政府に“白紙委任状”をだしているのと同じです。こんな土地利用規制法は廃止するよう声をあげ続けましょう」とお話ししました。

## 障害があっても 自分らしく生きるために

くらしの場を考える会と県の懇談に同席させていただきました。

「体調悪いと作業所に行けずに工賃が減って生活が大変。光熱費も高くて」「夜間や土日の職員の報酬加算が低すぎます」切実な実態に涙がでます。障害者入所施設増設のための予算増額、補助制度の拡大など求めています。



## 県道の側溝 でこぼこが改善 「歩きやすくなりました」

ふじみ野市役所前の県道さいたまふじみ野所沢線の側溝のふたの取り換えとデコボコの改修が行われました。

古くなった側溝のふたの劣化はシルバーカーや杖が挟まる、自転車への衝撃が大きいなど危険でした。地域住民と日本共産党のねばり強い県土整備事務所への働きかけの成果です。



埼玉土建主婦の会の皆さんと一緒に



母親パレードは母親大会の名物です

## 69回目の埼玉母親大会 (川越)

### 「生命を守ろう」と400人超がパレード

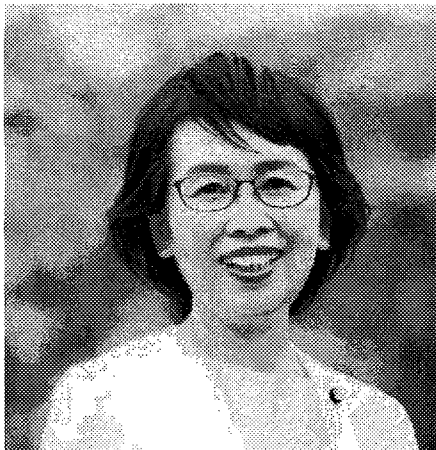
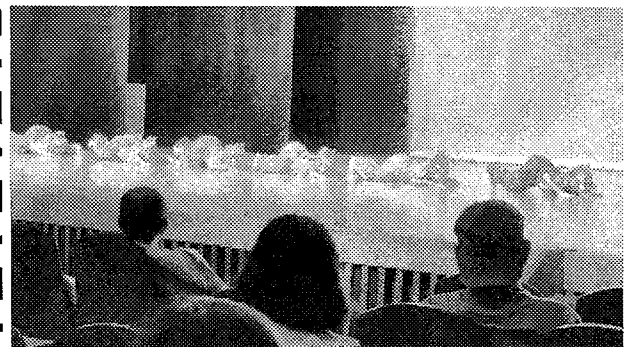
6月22日、ウエスタ川越で開催された第69回埼玉母親大会に参加してきました。私と母親大会の出会いには35年前。男女共同参画の分科会の書記として参加した新座大会でした。女性たちは、ずっと地位向上のために声をあげ続けているのです。ねばり強い。

今年は「食と農を守るために」と題した鈴木宣弘氏の記念講演に引き込まれました。食料こそ最大の武器である、良質な日本の種を守らない政府の危険な政策、世界中の物流が止まってしまうたら日本が一番の飢餓国になると恐ろしい内容でした。今年、改悪された農基法に食料自給率目標が明記されませんでした。わずか38%の日本の自給率。価格保障して農業守れ！軍事費でなく農業に予算を！

#### 文化行事 ふじみ野のダンスチーム登場

バレエスタジオ「705+Dance Lab」

子どもたちのかわいい青虫によるよろよろダンスに  
「かわいい～」の大歓声と大拍手



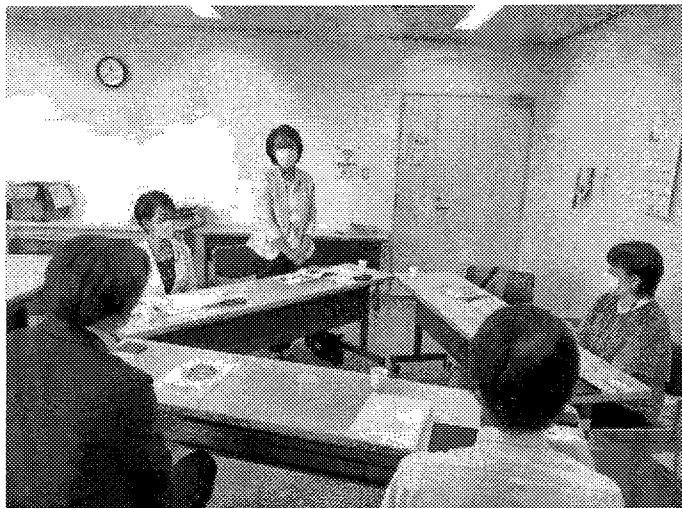
**伊藤はつみ**

**県政のとびら NO.29**

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年6月30日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



## 訪問介護事業所なかったら

### 住み慣れた家で暮らせなくなる

介護報酬は介護保険から介護施設・事業者に支払われます。3年に1度の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬が4月から引き下げられました。身体介護、生活援助などの訪問介護は、要介護者の在宅での生活を支えるうえで欠かせません。訪問介護事業所の約4割が2022年度以降3年連続で赤字。このままでは在宅介護がかなわず、「在宅放置」を招きかねません。

所沢の介護事業所でお話をうかがってきました。訪問先では24時間体制で対応しているので一晩に60キロも移動する日もあるそうです。常に、人手不足が深刻。高校や大学訪問も行っていますが人材確保は困難です。専門知識と経験が求められる重要な職業にこそ賃金アップが必要です。

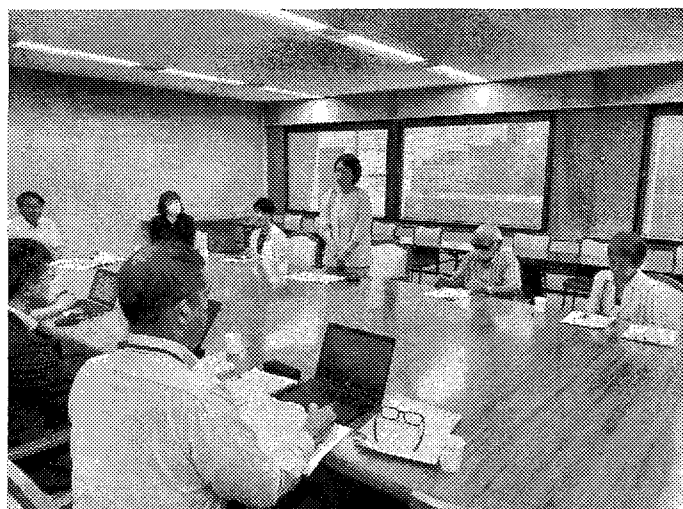
## 「払える保険税に」

### 社会保障推進協議会が申し入れ

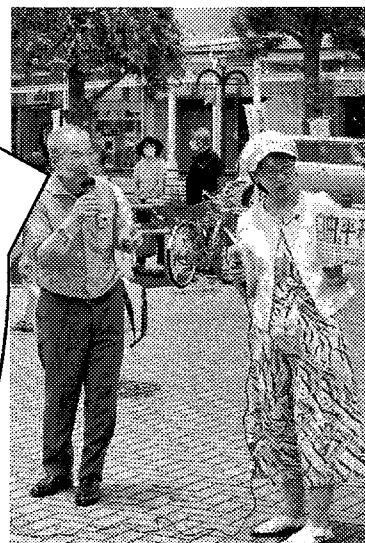
6月19日の申し入れに同席しました。国保加入者の過半数をしめる低所得者世帯では、物価高騰で生活が苦しく具合が悪くても病院に行くのも躊躇する状況です。子どものためにと頑張って国保税を納めている実態が語られました。2024年度は県内34市町村で国保税が引きあがりました。据え置いた自治体でも、以前に大幅な引き上げが行われています。国保の運営方針を見直して払える保険税にしてほしい、子どもの均等割りや低所得者への減免制度を県独自で導入して欲しいと申し入れ。県の担当課は、県民の負担を抑える観点と持続運営する観点の両者から運営方針を進めているので、運営方針の見直しは考えていないとの回答に留まりました。

現行の紙の保険証でも来年の7月末まで受診することができることの周知は、医療機関でのリーフ配布に加え、もうすぐ更新される保険証郵送時に説明を同封すると回答がありました。

協議会では7月から県内各自治体との懇談を実施する予定です。



国会報告中の伊藤岳参院議員  
上福岡駅前で街角トーク



# 全国をつなぐ原水爆禁止「国民平和大行進」

## 核兵器禁止条約 日本の参加を求めて



7月1日 三芳町&富士見市の皆さんと平和行進



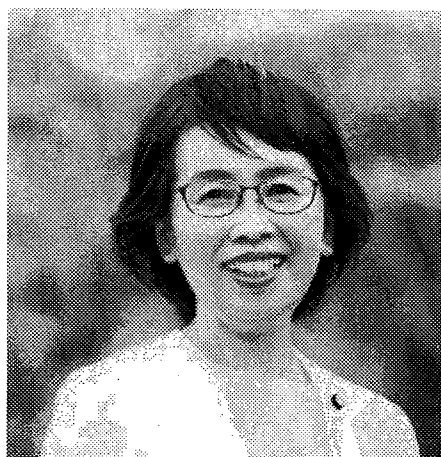
7月2日 上福岡駅前でのふじみ野集会

「一歩でも二歩でも一緒に」と呼びかけながら、全国をつなぐ平和行進も今年で67回目。初めて参加する方、歩けないけど集会には参加したいという方、平和への願いは広がっています。

私は、リレートークで「核兵器禁止条約のすごい内容は、兵器の開発、実験、保有、使用と威嚇を含め、核兵器のあらゆる活動を禁止していることは勿論、素晴らしい。それ以上に、被害者に対しての医療的ケア、リハビリ、精神的な支援を充分に提供するように規定しているところ、そして、自分の国が汚染された場合には、環境改善に向けて要請できると明記されていることだ」とお話ししました。

武器も戦争も核も誰も幸せにはできません。ミサイル1発分(5億円超)のお金で2カ所の保育所ができます。ミサイル3発分で特別養護老人ホームができます。二度と過ちは繰り返さないと誓った私たちの先人の思いを引き継ぎ守る、今を生きる私たちの責任は大きいです。

三芳町の「みらいくんの雫」  
いただきま〜す



### 伊藤はつみ

### 県政のとびら NO.30

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年7月14日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



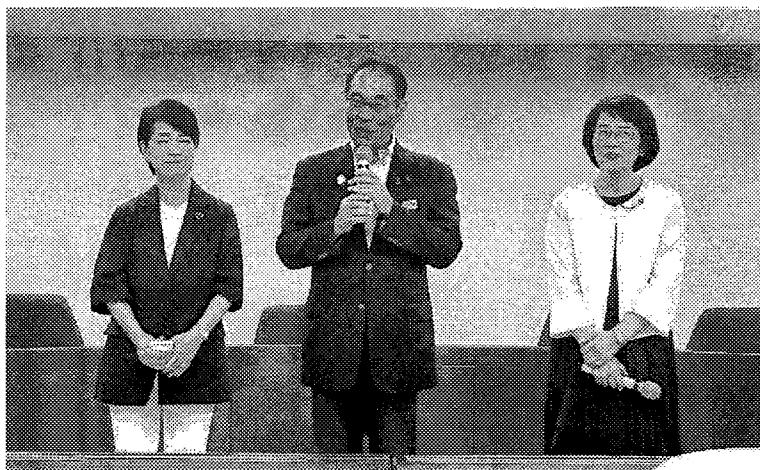
## 埼玉県独自で 介護職員の処遇改善を

県民から提出された「埼玉県独自の『介護職員・介護支援専門員等への処遇改善事業の実施』を求める請願書」。私は、福祉保健医療委員会の場で「介護職員の確保はとりわけ東京都境で難しい。他県へ人材が流れる状況は問題。国の対応を待ってはられない。埼玉県独自の処遇改善が必要だ」と採択を求める意見を述べました。

しかし、日本共産党・民主フォーラム・改革以外の会派の反対で不採択。

また、私は議会運営委員会で、本会議討論を要求しましたが、自民党の「本会議では討論しないことになっている」という発言により認められませんでした。

## 城下のい子県議(日本共産党・所沢選出)が一般質問 ふじみ野・三芳地域に特別支援学校を！



一般質問後の傍聴者との交流会で大野知事が挨拶

県内の特別支援学校は過密状態。図書室など特別教室を普通教室に転用していますが、限界です。城下県議は「ふじみ野地域に知的障害の特別支援学校を設置し、所沢おおぞら特別支援学校に通っているふじみ野・三芳地域の子どもたちに対応します。次に所沢特支の子どもたちの一部をおおぞら特支に通学させること」を提案しました。

教育長は「過密対策は、喫緊の課題、有効な方策の1つ」と答弁。現在進めている特別支援教育推進計画の次期計画の中に具体的な過密対策を盛り込めるよう、様々な方策について検討すると答えました。

## 埼玉土建の労働者後援会で県政報告

現場環境の過酷な中、能登被災地で「木造仮設住宅」551戸の建設支援に奮闘されている皆さんに心からの感謝をお伝えしました。7月からは、2階建て72戸の建設が始まるそうです。



# 来年度予算について 民主団体と懇談

## 防衛費の増額ではなく、社会保障や賃金アップ等に



伊藤岳議員、塩川議員、梅村さえ子氏らとともに懇談

7月17日から3日間、各分野の団体から要望を聞く懇談会を開きました。現場では今、何が起きているのか、私は15団体と交流しました。

介護現場からは「高齢のヘルパーに頼らざるを得ない中、もう体が厳しくてやめさせてほしいと言われる。ヘルパーが足りないと、利用者へのサービスも低下してしまう。県も国も現状をつかんで欲しい。国の勧める在宅介護は非常に難しい」と。

特別支援学校では、定員の2倍を受け入れているところがあります。増築が進んでいるものの敷地が狭いため、子どもたちが楽しみに使っているブランコやプールが解体されてしまいます。空調設備も老朽化して、故障すると休校にせざるを得ないそうです。

さいたま市で計画されている3700人規模の義務教育学校は、全国一の大規模校。まちづくり、そのものが問われています。

今回の懇談をもとに8月にはまず、国への予算要望を予定しています。

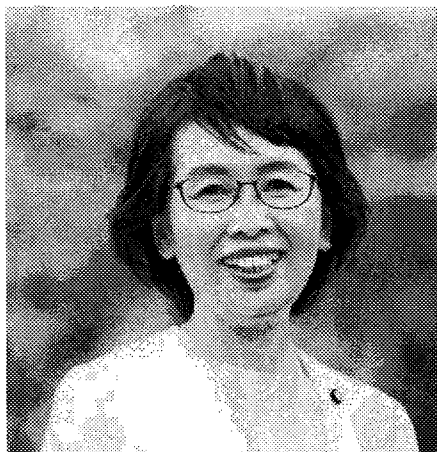


朝霞台駅前  
おはようございます

7月10日  
虐待ゼロ呼びかけ  
副知事と県議が参加  
うちわ配布で啓発



7月9日  
伊藤岳参院議員と議会報告



### 伊藤はつみ

## 県政のとびら N0.31

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年7月28日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



## 入間東部民主商工会の総会へ

### 「平和でこそ商売繁盛」

7月14日、第49回目の総会にふじみ野市・三芳町、富士見市議団とともに参加しました。

毎月発行されている入間東部民商の新聞では、地元の中小事業所を紹介し、会員の繋がりを強めています。私は「この団結力を生かして、応能負担の原則を壊す大企業優遇の税制を変えるために、一緒に声をあげましょう」とお話ししました。

## 基地問題 学習会

### 埼玉でも強靱化は進んでいる！

陸自朝霞駐屯地、情報本部大井通信所、米軍大和田通信所などが集中する埼玉西部東地区で塩川鉄也衆院銀を講師に学習会を行いました。

武力攻撃に耐えられるように施設強靱化が進められています。大井通信所では、建物改修25棟分が予算化されました。しかし、周辺に住む国民はどう守られるのかの計画はありません。さらに、土地利用規制法で監視が強化。

私からは埼玉県内の施設の機能や交付金の状況を資料で説明し、多くの人たちに実態を知らせ戦争する国づくりをすすめさせない運動をと呼びかけました。



昭和28年に設置された大井通信所。隊員数は約90人。面積は12ヘクタール。設備や装置は公表されていません。

## 第24回 おおい祭り

### 食べて、見て、踊って

ふるさとを大切に感じて欲しい、という思いで猛暑の中、たくさんのスタッフさんが準備・運営してくださいました。「麦茶飲んでいって～」の音が響きます。

私の参加した開会式は、12時から10分間位でしたが、汗がダラダラ。その後のステージでは元気なダンスや太鼓に圧倒されました。健康に楽しむことって大切です。



# 今の紙の保険証はいつまで使えるの？

## 議会報告会で質問が次々と

7月27日、ふじみ野市内でふじみ野市議団と議会報告会を行いました。私からは、6月議会では物価高騰対策の県独自の予算が提案されなかったことや県が策定する教育振興計画で学校給食費の無償化や少人数学級をすすめる施策がなく、日本共産党県議団は反対討論を行ったことなどを報告しました。

会場からは、不登校の解決策をどう考えているのか、マイナ保険証を作らないと医療機関にかかれなくなるのか、たくさん質問が出されました。



## マイナ保険証を持っていなくても大丈夫です

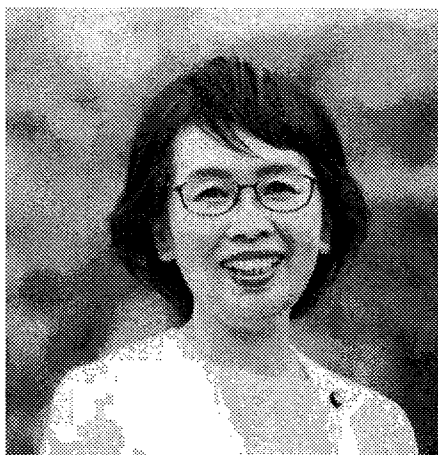
### 自動発行される「資格確認書」で医療機関に受診できます

**Q** マイナ保険証の利用登録をしないと、今まで通り医療が受けられなくなるのですか。

**A** 発行済みの保険証は最長1年間有効で、有効期間が切れるまで使えます。75歳以上の後期高齢者向けの保険者証も市町村の国民健康保険証も、来年の7月31日まで有効です。

**Q** 有効期限が切れたらマイナ保険証を取得しなければいけませんか。

**A** 現行の保険証の有効期限が切れても、マイナ保険証を持っていない人には今年12月2日以降、保険証の代わりとなる「資格確認書」が交付され、この1枚を持参すれば今まで通り、受診できます。「資格確認書」は最長5年間有効で申請しなくても自動的に届きます。



**伊藤はつみ**

**県政のとびら NO.32**

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年8月11日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

## 継続は力「三芳9条の会」

### 平和をつなげるスタンディング

暑くても寒くても雨が降っても毎月3日の昼に続けている鶴瀬駅前の行動。私もご一緒させて頂きました。会釈をして下さる人、ジッとプラスターを見つめてくれる人。一人でも平和を願い、戦争のない世界をと感じてくれる人がいたらうれしいです。



## 忘れてはいけない

### 大井フール事故から18年

ふじみ野総合体育館の武道場の隣に設置された献花台。設備管理と点検の不備、委託から委託へと公共施設の民間委託が進む中での事故でした。今はどうでしょう。ますます、民間委託が進められ全国でも同様の事故が後を絶ちません。技術者を育て、現場職員を増やすこと、自治体の大きな責任です。



## 豪雨対策の進捗など現地調査中

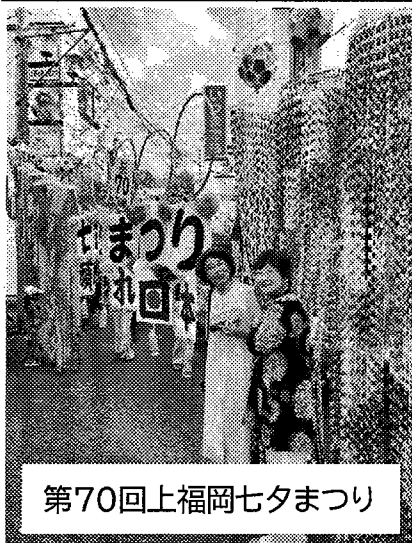
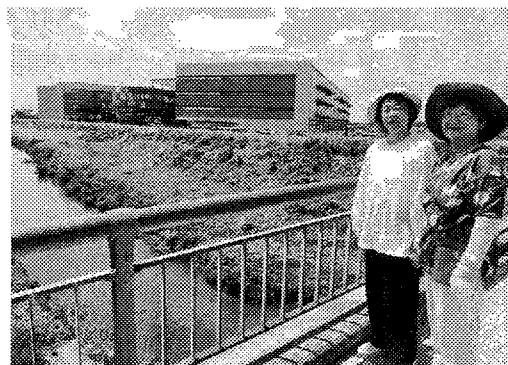
今月中に、ふじみ野市と三芳町の議員団とで県土整備事務所へ来年度予算への要望を行います。その前の現地調査を実施中。気候危機対策としても緑を守りたいと所々で感じています。



川崎調整池の工事現場

## 産業団地の開発 安全対策は万全？

国道254バイパス沿い産業団地の開発も今年度中に完成予定です。大きな物流倉庫が建設され景色が一変。地域住民の交通安全対策や環境対策をずっと提案しています。



第70回上福岡七夕まつり

# 太平洋戦争が終わって79年

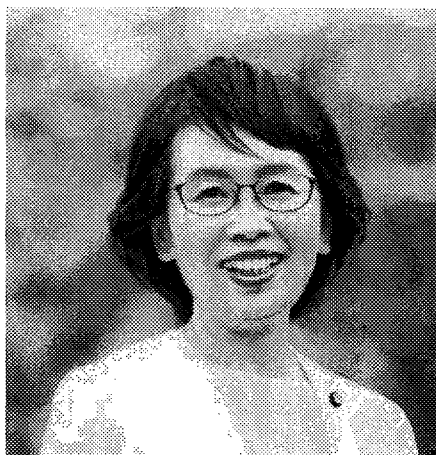
## 私たちには知らされていない真実がある



同時開催された「原爆と人間」展で吉川春子さんと



8月15日の鶴瀬駅 本名ひろし議員と宣伝



### 日本人「慰安婦」問題から学ぶ 吉川春子さんのお話し

三芳9条の会主催の学習会、吉川春子さん（日本共産党の元参議院議員）による「慰安婦」問題と性暴力の講演会に参加してきました。

外国人「慰安婦」問題は、当事者が名乗り出られていますが、日本人の「慰安婦」については語られていません。日本が支配していた地域には1000カ所以上も慰安所があったそうです。

吉川さんは、ビルマで従軍した元軍医から入手した「慰安婦」名簿をもとに、日本人「慰安婦」を追って調査を続けています。日本の家父長制のもと、貧困から遊郭で働くようになった多くの女性が慰安婦になったと指摘。また、日本人「慰安婦」は戦争中だけではなく、戦後も、進駐軍対策として「慰安所」がつけられていたと話されました。彼女たちは声もあげられず、ほとんどの人たちが、この世を去っています。軍人たちは、軍人恩給などが支給され、生活の保障がありながら、彼女たちは何もありません。

ジェンダー平等社会を実現させるために、まず歴史の真実を学び、人権問題として考え行動しなければなりません。

## 伊藤はつみ

## 県政のとびら NO.33

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年8月25日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



保存庫には田畑の小作帳など貴重な資料

## 埼玉県立文書館(もんじょかん)視察

県庁の隣にある施設ですが、私は初めての訪問。塩川てつや衆議院議員とご一緒しました。ここには埼玉県地域の中近世から近現代の古文書類、明治初年以来の県の行政文書(公文書)・行政刊行物、地図・航空写真など記録資料が収蔵されています。見学はどなたでも大丈夫です。

残されるべき記録が廃棄されてしまっては大変です。そのためには査定・収集・保存・利用できるようにする専門職が重要です。保管スペースの確保なども意見交換してきました。

## 川越県土整備事務所へ要望

ふじみ野地域の国道・県道・河川などについての要望書を8月6日にふじみ野市議団と提出し、懇談しました。

これから台風シーズンに入ります。新河岸川の氾濫対策や歩道の整備など、引き続き現地調査を続け求めています。



## 県水道料金の引き上げを報告

### 本来の目的は「公共の福祉増進」なのに

8月8日、日本共産党の議員研修会が嵐山町の国立女性教育会館で開かれました。私は、12月県議会で提案される予定の県水道料金引き上げについて報告しました。

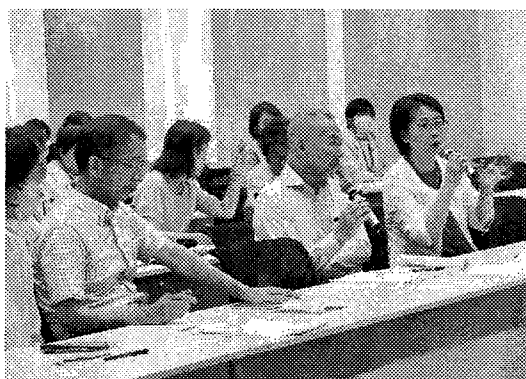
計画は、2026年度から県水を1㎡あたり76円(23%)引き上げ、平均家庭にすると1ヶ月当たり約176円も負担増になります。経済性を優先させるのではなく、福祉増進のための運営を進めるのが自治体の役割です。私は、国の補助金増額や一般会計からの繰り入れを増やすよう求めていますと訴えました。



### 「埼玉の戦争展」今年の41回で最後となりました。

毎年、小中高生もいっぱい参加していました。今度は地域で繋げていきましょう。(写真:8月11日、埼玉会館にて)





## 2025年度予算要望書を国へ提出

### 各省庁に地方議員団が実態を訴え迫りました！

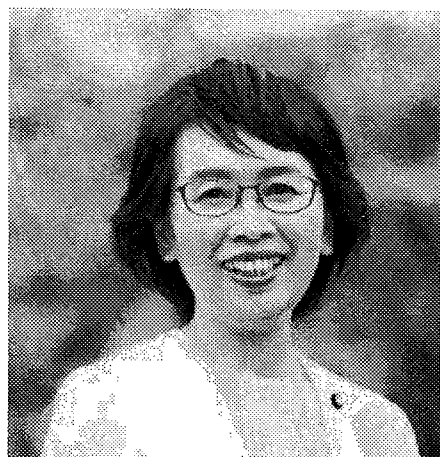
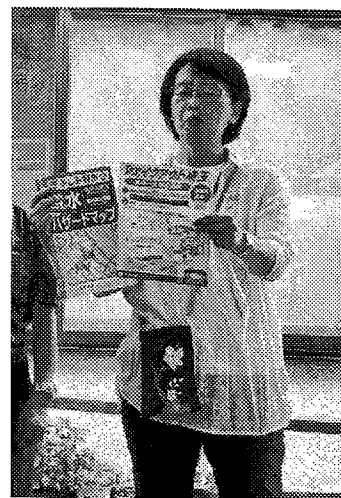
日本共産党埼玉県委員会と同国会議員団埼玉事務所、同埼玉県議団は8月23日、国に2025年度予算要望書を提出しました。伊藤岳参院議員、塩川てつや衆院議員、梅村さえこ元衆院議員も同席。地域公共交通、介護、子ども子育て、マイナ保険証、水害、公営住宅など各省庁の担当者に埼玉の実態を訴えました。

私は、①子どもの虐待に対応する児童相談所や各市町に設置された子ども家庭支援センターの体制強化、②水道下水道事業への財政支援の拡大、③基準値を超えた地域の有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の汚染源の特定調査について地元の思いを発言してきました。

## 「大雨のたびに心配です」

### 台風シーズン前に再確認

連日のように大雨や突風が吹き荒れた8月。地震も多発しています。ふじみ野市の福岡江川下流域のみなさんの集まりの中で、台風時の大雨の状況をうかがいました。近くに開発中の産業団地の調整池もありますが、内水に十分に対応できるのか心配な地域です。私は、家族の安否確認できる「災害用伝言ダイヤル171」も毎月1日と15日にはお試しができるので、一度はやってみましょうとお話しました。



**伊藤はつみ**

**県政のとびら NO.34**

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年9月8日

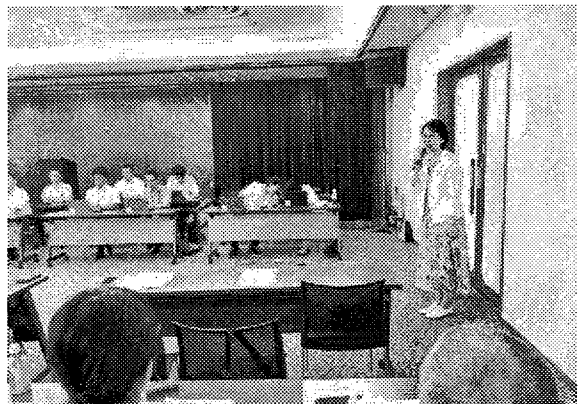
〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

# 日本共産党県議団の提案

## ふじみ野・三芳地域に 特別支援学校の設置を

特別支援学校の規模は、開校当時150人以下を想定していました。しかし、現在は300人を超える超大規模校が増加し、250人を超える学校は全体の半数。教室をパーティションで区切ったり、図書室を教室に転用したり、クールダウンする部屋も廊下の隅にパーティションで確保しています。所沢特別支援学校では、もう転用可能な教室はなく、調理室で会議や教育相談を行う状況です。



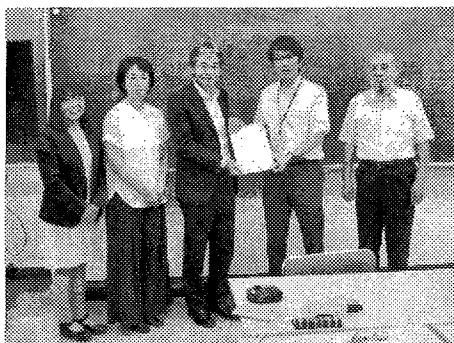
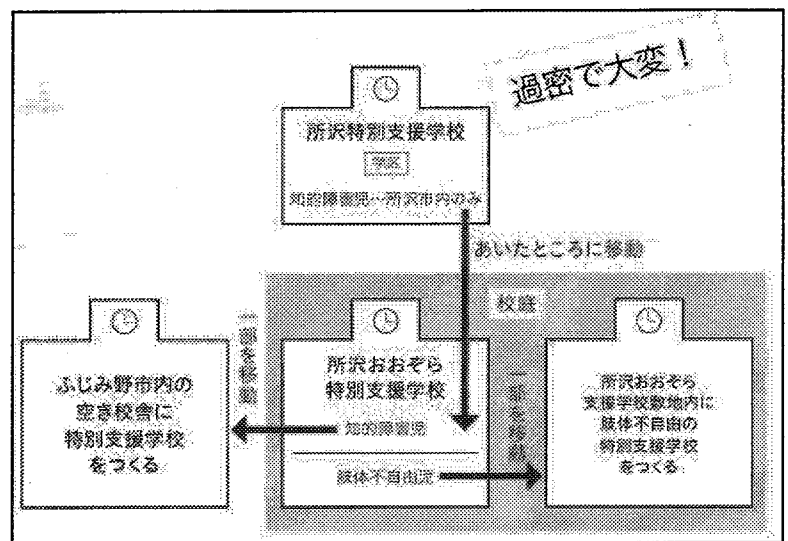
障埼連と県との懇談で挨拶する伊藤県議

そこで、党県議団が提案しているのは、  
①ふじみ野地区にある空き校舎を使って、「ふじみ野地域に知的障害の特別支援学校を建設し、所沢おおぞら特別支援学校に通っているふじみ野・三芳地域の子どもたちに対応する。

②次に所沢特別支援学校の子どもたちの一部を所沢おおぞら特支に通学させる

③所沢おおぞら特支の敷地内に新校舎をつくり、「知的障害」と「肢体不自由」の2つの校舎にわける。

県教育長は「過密対策は、喫緊の課題」とし、この提案について「有効な方策の1つ」と答弁しています。



### 川越県土整備事務所へ

### 三芳町議員団と8/22に要望書提出

川越街道の樹木や雑草、歩道のデコボコなど安全対策を要望してきました。県土整備事務所も現地を確認しながら、通行者の安全確保を行い、できるところから順番に対応したいとのことです。

### 外国籍居住者の命と人権を守れ

入管法の改善と心無いヘイトスピーチの解消を求めて川口・蕨市議団とともに国会要望に行ってきました。

クルド人など外国籍の人が多く住んでいる川口市と蕨市。難民申請しても許可されず、仮放免では就労できず、健康保険にも加入できません。子どもたちは部活動での県外遠征も申請しないと参加できません。メディアが差別をあおり、ネットでデマが拡散され、クルド人が暮らす地域をヘイトデモ隊が練り歩いています。ヘイトスピーチは絶対に許されません。



# 熱戦！ 伝統をつなぐ「囲碁・将棋大会」

主催：しんぶん赤旗編集局

後援：日本棋院・日本将棋連盟



ルールの説明中。みなさん、真剣。

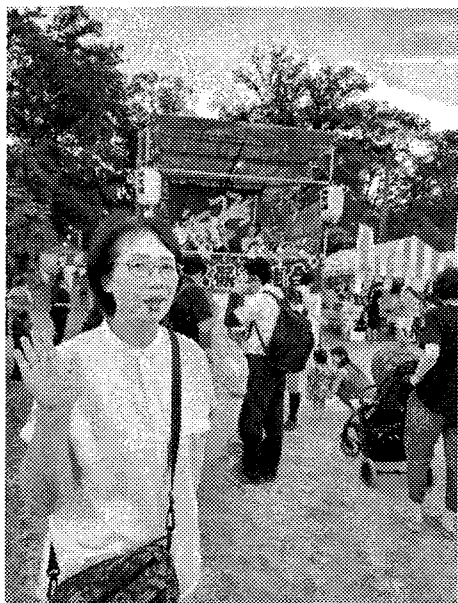
アマチュアも小学生も参加できる大会も今年で59回目。9月8日は志木市内で地区大会が行われました。

私は、伝統文化を継承するためにこの大会がスタートしたこと、平和であるからこそ、好きなことができる、こんな社会をみんなで守っていききたいとお話しました。

当日は将棋の部で5人が同率1位となる大激戦。囲碁の代表3人と9月末の県大会に挑みます。ぜひ、この地区から全国大会に進んでプロと対戦して欲しいです。

## 三芳まつり

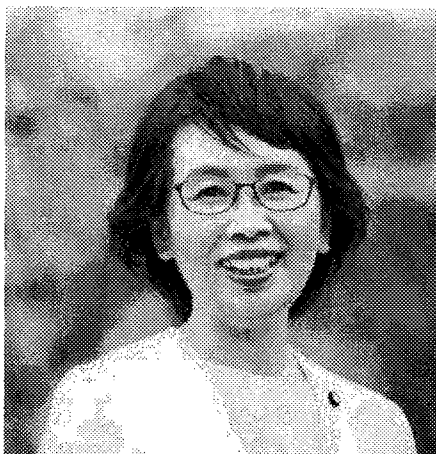
### 2000発の花火に大歓声



手を挙げて挨拶する伊藤県議

9月7日のまつり会場は人・人・人。打ち上げ花火をどこで見ようか、常連さんはしっかり場所を確保されていたようです。

お囃子で、子どもたちの舞う姿がとても愛らしく、保存会の活動のすばらしさを感じました。



## 伊藤はつみ

### 県政のとびら N0.35

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年9月22日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

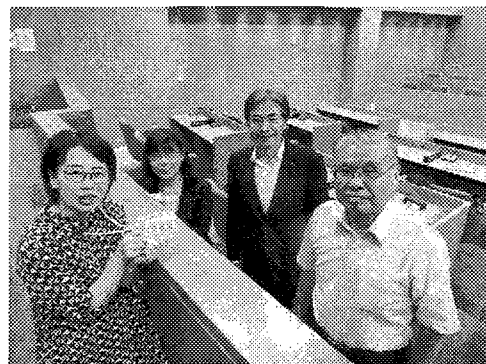
電話・FAX 049-269-1811

# 「健康保険証が廃止されたら、医療機関も困ります」

## 埼玉県保険医協会と懇談

協会が8月に実施した開業医アンケート結果の報告を受けました。5月以降、マイナ保険証に関するトラブル有りは72%で、昨年末の58%から、改善されていません。読み込みがうまくできない、カードリーダーの接続不良などが多く、解決方法は健康保険証を確認すること。受付が混乱し、診察までの待ち時間に影響が出ているというお話しでした。

保険証は残すべき、廃止の延期を求める開業医は98%。命に係わる重大な問題です。私は、この問題を審議した三芳町議会(写真右)の様子を伝えながら、現在の保険証を存続させるために、力を合わせましょうとお話しました。



## 埼玉の平和を考える

### 施設の強靱化で県民は守られるのか

埼玉県平和委員会の皆さんとともに、県の基地担当者と懇談しました。

増え続ける防衛費で自衛隊施設の強靱化がすすめられ、監視も強化されています。私は、周辺の住民は安全なのか、逆に強靱化しなければならない施設の方が危険ではないかと問いました。担当職員は「抑止のため」と答えを繰り返します。

騒音問題も切実で、県も住民への影響ないようにと国に要望を続けています。これは、平和委員会が飛行調査を根気強く続け、声を届け続けてきた結果でもあります。



### 朝鮮人を虐殺 ～関東大震災で起きた真実～

埼玉県は関東大震災の時に「朝鮮人が暴動を起こしている」という誤った通知を出しました。各地で自警団がつくられ、罪のない朝鮮人が虐殺されました。私は、9月4日、常泉寺(見沼)で行われた慰霊祭に参加しました。しっかり、語り継がれています。



県水が値上げ？

## 県水道料金引き上げを考えるシンポジウム

### 物価高騰の中、命にかかわる大問題

県は2026年から水道料金を23%程度値上げする計画で、県議会12月定例会に関連議案が提出される見込みです。

県水道料金の引き上げが、市町の水道料金の更なる引き上げのきっかけとなりかねません。物価高騰で県民の生活が困窮する中、これ以上の引き上げは命に関わる問題です。県職員組合の役員の男性は「水道は公衆衛生であり、住民の命や健康を守るために必要なもの。受益者負担を求めるのは間違いだと思う」と話しました。

埼玉自治体問題研究所の林副理事長は、負担増の原因は国や県が水需要予測を誤り、八ツ場ダム建設を強行したことにあるとして、検証が必要だと指摘。日本共産党の梅村さえこ元衆院議員は、「能登半島地震で水道管に大きな被害が出たにもかかわらず、上下水道の耐震化に関わる予算はわずかな増額にとどまる見込み。軍事費を削って水道や教育、福祉に回す政治を求めよう」と呼びかけました。党県議団は、県の一般会計から繰り出しを行って、引き上げを抑えるべきだと提案しています。



**伊藤はつみ**

**県政のとびら N0.36**

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年10月6日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

## 9月定例県議会開会

会期は9/25～10/16

### 「ガザへの即時恒久的停戦」求める請願提出



皆野町に住む元イスラエル軍兵士のダニーネフセタイ氏が、パートナーとともに、「国に対し『パレスチナ自治区ガザへの即時恒久的停戦と人道支援を求める意見書』の提出を求める請願」を9月定例会に提出されました。

ダニー氏は「子どもが4万人も死んでいる。このことは誰も正しいとは言わないはず。誰でも賛成できることだ。自分はイスラエル人。イスラエル人の自分のいうことは聞いてもらえると思う」と力強く語りました。

私と城下県議は、紹介議員として請願に署名をし、ダニー氏にお渡しました。請願は10月9日の常任委員会で議論される予定です。

### 学校給食費 無償にして 署名39529筆提出



9月20日、安全な地元農産物の活用と学校給食の無償化をめざす埼玉連絡会の方々が県庁を訪れ、署名を副知事に手渡し、懇談しました。私も同席しました。

要望項目は「①安全な地元農産物を学校給食に活用を。②国に学校給食無償化の働きかけを。③国が無償化するまで県が無償化を」という3項目です。

副知事は、「県産米や小麦などを学校給食に積極的に活用している。無償化については地域によって差があるのは望ましくないので、国に要望している」と昨年と変わらない答えに留まりました。

### 障害のことを知ってほしい

#### 埼玉精神障害家族会と懇談

党県議団は精神障害2級にも医療費助成を拡大することを長年求め続けています。しかし、現在埼玉県は、対象を1級のみとし、他の障害と大きな開きがあります。県は、有識者検討会で議論し、制度の見直しを行うとしてきましたが、今年度も予算化されませんでした。障害への偏見による苦しみは生きる希望をも奪ってしまっています。私は、制度改正に向けて力を合わせて、求め続けましょうとお話しました。





## 全国一の医師不足なのに改悪 奨学金に年10%の利息を付す

県は、医学生奨学金の利息を来年4月から「年10%」にします。6年間の返済総額は最高で1890万円(うち利息は450万円)にもなります。

県の奨学金制度は、大学入学から卒業まで、月20万円を上限に貸与され、6年間の総額は最高で1440万円。県内の公立病院などの7医療機関や、産科・小児科・救命救急センターに勤務する期間が貸与期間の1.5倍に達した場合は、返済が全額免除されます。しかし、県外へ転出や大学中退などの場合は全額返済しなければなりません。返済期間の猶予や一部免除があるというものの、その事例ごとに相談に応じるというだけで明確な規則は定められていません。党県議団は、家計急変や本人の病気などであきらめざる得ない場合に、10%の利息まで付すのは認められないと反対しました。

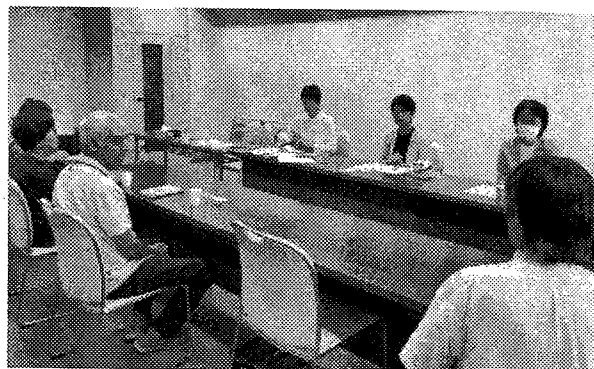
## どうなった？ 紹介議員となった請願

9月県議会

### 「国に対し『パレスチナ自治区ガザへの即時恒久的停戦と 人道支援を求める意見書』の提出を求める請願」

委員会で自民党・公明党が不採択。公明党は、「どちらの国も悪い」と請願には賛同できないと反対討論を行いました。

私は、本会議での請願への討論を認めて欲しいと議会運営委員会で毎回主張しています。しかし、県議会は、申し合わせで討論は行わないこととしているとし本議会でも認められませんでした。



請願人(ダニー・ネフセタイさん達)と懇談中



## 伊藤はつみ

### 県政のとびら NO.37

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年10月20日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

## 埼玉県議会で初めての企画

### 大学生と県議の意見交換会 「若者と政治の距離は」

若者の政治離れをテーマに大学生と県議との意見交換が10月11日に議事堂内で行われ、私も参加しました。立教大、埼玉大、獨協大の20名の学生と8名の県議が4グループに分かれて意見交流。

距離を感じている原因について、学生たちからは、▼困っている事がないと政治が他人事になってしまう、▼政治で生活が変わったという実感がもて

ない、▼情報や政治家の考え方が伝わってこないなどが挙がりました。その上で、議会や政治家の活動への理解が深まるよう、▼県議会の広報紙を学校に配布する、▼議員の一日の活動を動画配信する、▼議会の審議は子育てや高齢者対策など分野別に日程を分けて実施すれば傍聴してみようと思えるなど、新鮮な提案が出されました。

私は、「学校の教育の中でも主権者教育がじっくりできる時間が必要であり、幼い時からその発達段階に応じた取り組みで、政治への関心が自然と培われていく環境づくりを政治家は考えていかなければなりませんね」とお話をさせて頂きました。楽しい時間でした。



10月6日 三芳町町民体育祭  
総合体育館での開催でした

### ラジオ体操だけで汗・汗！



10月13日 上野台小学校グラウンド  
オールふじみ野フェスティバル



### 富弘美術館へ

口で筆を持ち、文と絵を描き続けた生涯。自然と向き合う優しさを感じてホッとしたふじみ野バスツアーでした。

### 足尾銅山へ

公害闘争の原点の地、労働運動の発祥の地で学びました。

